

第17回 植物病原菌類談話会 ご案内

忍び寄る病原菌の影！ 果樹病原菌の華麗なる感染戦略

—すでに感染している！—

平成 29 年 4 月 28 日（金）14:00～16:40
盛岡市 アイーナホール（いわて県民情報交流センター）
（平成 29 年度日本植物病理学会大会 第 1 会場）

講演内容：

1. 果樹腐朽病害における病原菌の感染・発病戦略 ～ナシ萎縮病を中心に～

農研機構・果樹茶業研究部門 生産・流通研究領域 病害U 中村 仁

長い間、病原菌が特定できなかった果樹病害の代表であるナシ萎縮病について、病原菌の分類学的位置及び病徴診断法を紹介するとともに、病原菌の感染・発病戦略を紹介します。

2. イチジク株枯病やブドウ枝膨病で観察される病原菌の感染戦略

福岡県農林業総合試験場 病害虫部 梶谷裕二

近年、病原菌の所属が明らかになった果樹病害の中で、イチジク株枯病とブドウ枝膨病を取り上げ、病原菌の分類学的位置、病徴診断法及び防除対策等を紹介するとともに、両病害で観察される病原菌のユニークな感染戦略を紹介します。

3. 果樹白紋羽病菌に対するマイコウイルスの感染・移行戦略

農研機構・果樹茶業研究部門 リンゴ研究領域 リンゴ病害虫U 八重樫元

菌類に感染するマイコウイルスを利用した、白紋羽病の生物防除に関する研究成果を紹介するとともに、同ウイルスの感染・移行戦略を紹介します。

「生物多様性条約並びに名古屋議定書のもとでの海外遺伝資源へのアクセスとその移動」

（独）製品評価技術基盤機構（NITE） バイオテクノロジー本部 安藤勝彦

生物多様性条約並びに名古屋議定書について解説するとともに、それら国際条約の下での海外遺伝資源へのアクセスとその移動について考えてみたい。

進行

福岡県農林業総合試験場 梶谷裕二

近年、病原や病原菌の所属が明らかになった果樹病害の中で、ナシ萎縮病、イチジク株枯病及びブドウ枝膨病を取り上げ、関与する病原菌の華麗な感染・発病戦略について紹介します。また、研究トピックスとして、菌類に感染するマイコウイルスを利用した、ナシ白紋羽病の生物防除における同ウイルスの感染戦略を紹介するとともに、生物多様性条約並びに名古屋議定書のもとで決定された、海外遺伝資源へのアクセスとその移動について解説します。

参加費：500 円（会場費および資料印刷費）、当日会場にてお支払いください。

お問い合わせ先：

植物病原菌類談話会 第 17 回コーディネーター：梶谷裕二（福岡農林試）

TEL:092-924-2938, E-mail : kajitani-y1561@pref.fukuoka.lg.jp

同談話会代表幹事：渡辺京子（玉川大学）

TEL: 042-739-8247, E-mail: wkyoko@agr.tamagawa.ac.jp